資料３

今後の進め方について

社会や市民ニーズ・多様な関わりに柔軟に対応できる計画策定・事業推進スタイル

1 「計画・実行・点検・見直し」のプロセスを推進
2 情報発信・意見集約
3 多様な意見集約の場、活動の場を用意・支援し、意見の反映の過程の見える化

盛岡地区かわまちづくりの実現

多様な主体の参加による実践
〈担い手に発展〉

議論・協働活動の過程をとおして発展する計画
〈柔軟性・発展性を持った計画〉

多様化するニーズ・変化に柔軟な対応する計画策定・事業推進スタイル

1「盛岡地区かわまちづくり懇談会」は今後も継続し、マネジメントサイクルによって「かわまちづくり計画（案）」を発展させます

2次年度は、本年度の「かわまちづくり計画（案）」について、広く市民の意見を聞くパブリックコメント、現地でかわまちづくりをＰＲしながらアンケート（例えばオープンハウス等）するなど広く意見を聞く機会を設置します

3具体的な施策や区間別・テーマ別施策を議論する場としてワークショップ（ＷＳ）を設置し、市民仕様書として懇談会に提言し、かわまちづくりを推進ます

意見収集

サイクルの繰り返し

事業の実施
●行政的判断
●技術的判断
●連携・支援体制構築

懇談会での議論２
市民意見・市民仕様書を踏まえた議論

情報提供

意見収集

市民仕様書
（発案・提言）
施策の内容によってはＷＳを設けて、意見・アイデアを募る
議論の結果を市民からの仕様書としてまとめる

市民意見収集
一般市民の意見を聞く機会を設ける

事業の立案
●実施事業の企画・計画

懇談会での議論１
行政が検討した企画に対する議論

情報提供

平成 22 年度以降

今年度

コミュニケーション手法（情報提供と意見収集）：事業の性格に適した手法を選択して、実施する

ワークショップ
地区別・まちづくり事業別に具体的な施設整備や市民の参画・役割分担のあり方などについて議論する場
議論の結果を「市民仕様書」としてとりまとめ、懇談会に提言します。

オープンハウス
公共空間（例えばおでって等）で計画内容を説明し、アンケートを実施し、一般市民の意見を聴取する場

イベント・社会実験
北上川・中津川で実施するイベント、または社会実験を通じてアンケートを実施し、意見を聴取する場

アンケート・パブリックコメント
盛岡市、国土交通省のホームページ、広報誌等により公表し、意見を集約

盛岡かわまちミュージアム
【盛岡地区かわまちづくり計画（案）】
今年度：目標像・基本方針・施策方針を検討して作成

事務局（案）
〇北上川（三川合流点～明治橋下流）
〇中津川

かわまちづくり懇談会
まちづくりと連携した良好な水辺空間を形成し、地域活性化を目指した「かわまちづくり」の各種取組みに対する意見交換の場

行　政
盛岡市・国交省

協　働・連　携

市民・市民団体